

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 4月 17日	
(あて先) 旭川市長	
提出者	
住 所 旭川市近文町20丁目1120番23	
氏 名 株式会社ヤマザキ 旭川工場	
工場長 柴山 昭人	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0166-76-1120	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ヤマザキ 旭川工場
事業場の所在地	旭川市近文町20丁目1120番23
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：食料品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 43億
③ 従業員数	230名（正社員：108名 パート他122名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長 (処理計画作成担当) →
 製造部 (食物残差、廃棄物排出) →
 工務部 (廃棄物管理) →
 グリーンテックス株式会社 (構内外注：廃棄物処理担当)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	4549 t	t
	（これまでに実施した取組） 製造ライン効率化 (歩留まり向上、ロス低減) 原材料の安定化 (鮮度保管体制) 廃プラの分別 (再利用品)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	4231 t	t
	（今後実施する予定の取組） 製造ライン効率化 (歩留まりの向上、ロス低減) 原材料の安定化 (鮮度保管体制) 廃プラの分別 (再利用品) 7%の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	野菜残渣	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	162 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	135 t	t
	(これまでに実施した取組) 野菜残渣脱水による野菜残渣の脱水(能力20%脱水)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	野菜残渣	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	160 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	133 t	t
	(今後実施する予定の取組) 野菜残渣脱水による野菜残渣の脱水(能力20%脱水) 脱水機能力向上1%		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

※ 排出量

※ 再生処理量

2024年度 株式会社ヤマザキ旭川工場 廃棄物処理一覧表（月別）

《廃棄物集計表》

		4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	通期計	
産業廃棄物	動植物残さ	アンピエンテ／野菜残さ(堆肥化)	113,200	92,220	108,490	133,140	134,010	124,610	128,260	112,780	86,710	157,120	95,030	70,200	1,355,770
		アンピエンテ／南瓜(破碎堆肥化)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		馬場農場／南瓜ワタ・皮・芋皮・人参(飼料化)	63,945.0	68,530.0	61,250.0	58,430.0	66,517.5	59,735.0	74,175.0	51,542.5	57,827.5	49,505.0	37,540.0	41,512.5	690,510.0
		馬場農場／芋皮・玉ねぎ外皮(飼料化)	114,165.0	107,580.0	100,985.0	108,845.0	104,290.0	103,650.0	103,615.0	123,220.0	114,090.0	123,440.0	117,305.0	127,535.0	1,348,720.0
		グリーンテックス／南瓜(堆肥化試験)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	《小計》		291,310.0	268,330.0	270,725.0	300,415.0	304,817.5	287,995.0	306,050.0	287,542.5	258,627.5	330,065.0	249,875.0	239,247.5	3,395,000.0
	汚泥	脱水汚泥	41,280	41,760	35,250	40,910	30,280	19,300	32,590	34,140	34,270	36,960	31,540	39,000	417,280
		野菜前室焼却汚泥	6,490	0	6,510	5,850	5,980	15,240	12,390	6,120	6,350	5,840	5,950	7,320	84,040
	《小計》		47,770	41,760	41,760	46,760	36,260	34,540	44,980	40,260	40,620	42,800	37,490	46,320	501,320
	廃プラ	廃プラ(焼却)	6,820	6,890	5,880	6,640	7,080	7,320	7,730	7,100	7,270	7,500	7,240	7,290	84,760
		廃プラ(破碎)	220	230	200	230	210	210	230	210	210	210	200	210	2,570
		廃プラ(スタイロフォーム)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		混合廃棄物	760	340	40	1,030	410	1,180	0	0	0	1,850	640	0	6,250
		《小計》	7,800	7,460	6,120	7,900	7,700	8,710	7,960	7,310	7,480	9,560	8,080	7,500	93,580
	廃油	グリスピット	34,700	42,660	65,450	34,000	44,240	34,300	34,680	42,120	33,300	41,850	33,320	33,220	473,840
		豚脂	6,050	6,120	7,710	6,140	8,640	5,630	6,650	4,750	4,550	7,940	4,740	4,520	73,440
		鉱物油	0	320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320
		《小計》	40,750	49,100	73,160	40,140	52,880	39,930	41,330	46,870	37,850	49,790	38,060	37,740	547,600
	その他	木くず	1,130	1,580	460	900	1,220	520	1,080	990	760	630	750	810	10,830
		特別管理産業廃棄物	0	0	20	0	20	0	0	0	0	0	0	30	70
		塩ビ(m)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		蛍光管(本)	0	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	144
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	10	0	0	30	40	10	0	0	10	0	100
		《小計》	1,130	1,580	490	900	1,240	550	1,265	1,000	760	630	760	840	11,145
産業廃棄物計		388,760	368,230	392,255	396,115	402,898	371,725	401,585	382,983	345,338	432,845	334,265	331,648	4,548,645	
有価回収	段ボール(kg)	7,190	8,790	8,190	8,860	7,420	7,830	9,020	7,510	8,700	8,760	7,600	7,360	97,230	
	鉄くず(kg)	990	420	860	0	570	740	710	0	0	0	690	1,500	6,480	
	廃食油(ℓ)	0	0	0	950	0	0	0	0	0	0	0	0	950	
	揚廃油(ℓ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	《小計》	8,180	9,210	9,050	9,810	7,990	8,570	9,730	7,510	8,700	8,760	8,290	8,860	104,660	
事業系一般廃棄物	可燃ごみ(m)	10.1	10.4	9.1	9.8	9.8	9.6	10.4	9.3	10.4	9.3	8.7	10.1	117.0	
	不燃ごみ(m)	0.7	0.7	0.4	0.5	0.8	0.7	0.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.3	6.7	
	缶(m)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ペットボトル(m)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	《小計》	10.8	11.1	9.5	10.3	10.6	10.3	11.0	10.1	10.8	9.7	9.1	10.4	123.7	
総合計		396,950.8	377,451.1	401,314.5	405,935.3	410,898.1	380,305.3	411,326.0	390,502.6	354,048.3	441,614.7	342,564.1	340,517.9	4,653,428.7	

株式会社ヤマザキ旭川工場 廃棄物処理一覧表（年別）

《廃棄物集計表》

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
産業廃棄物	動植物残さ											
	アンビエンテ／野菜残さ(堆肥化)	1,291,610	2,077,490	2,128,490	2,237,170	1,255,550	1,344,670	1,355,700	1,590,930	1,457,920	1,430,340	1,355,770
	アンビエンテ／南瓜(破砕堆肥化)	0	0	0	0	151,150	301,400	136,400	32,540	0	0	0
	田村ファーム／野菜くず(飼料化)	492,270	395,850	431,940	482,600	509,660	92,020	0	0	0	0	0
	中原養豚場／野菜くず(飼料化)	198,710	123,460	39,550	0	0	0	0	0	0	0	0
	馬場農場／南瓜ワタ・皮・芋皮・人参(飼料化)	0	0	0	24,240	1,194,313	1,245,015	1,269,475	528,520	726,270	812,335	690,510.0
	馬場農場／芋皮・玉ねぎ外皮(飼料化)	0	0	0	0	0	0	0	827,710	878,315	850,885	1,348,720
	グリーンテックス／南瓜(堆肥化試験)	40,275	0	0	423,110	227,770	442,840	927,770	0	0	0	0
	《小計》	2,022,865	2,596,800	2,599,980	3,167,120	3,338,443	3,425,945	3,689,345	2,979,700	3,062,505	3,093,560	3,395,000
	汚泥											
	脱水汚泥	393,450	471,760	454,830	354,660	327,980	328,210	336,270	347,840	413,860	440,390	417,280
	野菜前室焼却汚泥	0	0	0	0	36,230	101,330	83,230	82,610	103,020	93,970	84,040
	《小計》	393,450	471,760	454,830	354,660	364,210	429,540	419,500	430,450	516,880	534,360	501,320
	廃プラ											
	廃プラ(焼却)	61,520	77,790	71,590	85,370	93,340	88,980	77,140	76,780	80,490	74,750	84,760
	廃プラ(破砕)	5,640	7,300	6,100	5,040	4,270	3,670	3,000	3,080	3,110	2,590	2,570
	廃プラ(スタイロフォーム)	0	0	0	0	0	0	0	20	10	0	0
	混合廃棄物	0	1,130	9,810	8,080	13,430	9,490	7,710	21,430	9,930	10,390	6,250
	《小計》	67,160	86,220	87,500	98,490	111,040	102,140	87,850	101,310	93,540	87,730	93,580
	廃油											
	グリスピット	278,910	302,000	304,420	330,330	338,030	424,270	456,220	458,140	474,580	488,700	473,840
	豚脂	119,750	96,740	78,150	79,160	55,400	42,090	33,100	34,090	50,710	97,490	73,440
	鉱物油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320
	《小計》	398,660	398,740	382,570	409,490	393,430	466,360	489,320	492,230	525,290	586,190	547,600
	その他											
	木くず	122,350	159,110	134,790	79,480	151,820	86,960	75,550	51,750	18,820	12,660	10,830
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	30	30	30	20	20	50	70
	塩ビ(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	蛍光管(本)	0	0	0	0	591	0	205	0	0	100	144
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	30	70	110	100
	《小計》	122,350	159,110	134,790	79,480	152,441	86,990	75,785	51,800	18,910	12,921	11,145
産業廃棄物計		3,004,485	3,712,630	3,659,670	4,109,240	4,359,564	4,510,975	4,761,800	4,055,490	4,217,125	4,314,761	4,548,645
有価回収	段ボール(kg)	73,360	90,140	105,030	88,750	105,050	99,310	89,804	84,950	96,550	89,460	97,230
	鉄くず(kg)	10,920	7,980	7,760	5,620	6,590	6,040	5,870	8,180	8,330	6,930	6,480
	廃食油(%)	20,650	16,100	13,000	13,700	11,900	4,400	7,000	10,350	16,900	4,700	950
	掲廃油(%)	640	1,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	《小計》	105,570	115,380	125,790	108,070	123,540	109,750	102,674	103,480	121,780	101,090	104,660
事業系一般廃棄物	可燃ごみ(m)	95.4	107.8	107.9	103.7	104.0	105.0	110.0	111.1	102.8	121.1	117.0
	不燃ごみ(m)	20.8	28.1	28.0	30.9	52.0	52.5	58.0	39.0	10.0	8.4	6.7
	缶(m)	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ペットボトル(m)	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	《小計》	137.7	135.9	135.9	134.6	156.0	157.5	168.0	150.1	112.8	129.5	123.7
総合計		3,110,192.7	3,828,145.9	3,785,595.9	4,217,444.6	4,483,260.0	4,620,882.5	4,864,642.0	4,159,120.1	4,339,017.8	4,415,980.0	4,653,428.7

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。